

席を見たるのみのこともある。尙近頃喜ばしきは會員の時間勵行の實現にて幼兒の躰の上から誠に心強き事である。

2、生活指導

躰をするのに徒らに禁止的になつたり、無理な型に捕はれた作法を強いたりすることのない様にしたものである。さこまでも子供としての生活を活かし、子供全體の生活の中からつめて良習慣を作りたひ考へたものが左の隣組、繪日記、繪ばなし等である。日常の保育へ巧に織り込んで行く時に、幼兒のたのしみの中に何の苦もなく躰の効果はあげられてゆくのである。

1、幼稚園隣組 各組別に隣組を作り、更に園全體に及ぼし六組にて隣組を組織する。然して園全體としては、二年保育の年長組が組長格になり總て模範を示し、遊びの計畫等もなし他の組を補佐し誘導する。年中行事、日常の遊び又は外遊に於ける等種々の場合に良い習慣は養はれてゆくのである。

ロ、繪日記、主として年長組の子供に行はれてゐるが大部分の者は片假名を使用して、繪の説明もしてゐる。字の書けないものは繪のみにて自分で説明する。躰の上に又家庭聯絡の上に効果ある試みと思ふ。

ハ、繪ばなし、これは當園に於ける日常の躰事項を集めて繪ばなしに作り、保姆と幼兒の合同作製のものにて、幼

兒も非常に興味をもちて家庭との聯絡上にもこれ又効果の多いものとして實施してゐるのである。

幼稚園の情操教育

東京・本郷第一幼稚園 草野京

紀元二千六百年を迎へて新體制は理論でなく、計畫でなく著々實踐に入り、新制度に依る國民學校の誕生も目前に迫つてまゐりました。この國民學校が「皇國ノ道ニ則リテ國民ノ基礎的練成ヲナス」時に、名こそ國民幼稚園と改めないでも、事實新しい天地の空氣を呼吸する幼稚園で、朝に夕に前進しつゝ止まない幼兒を、私共幼稚園に於ける幼兒保育者は如何なる心構へで如何に保育したらよろしいのでせう、殊にその情操方面に就てこゝに少し考へてみる事に致します。

先づ第一に保育者即保姆自ら豊なる情操の持主たるべく自の修養と反省を努める事、日々多忙な社會生活がさもすれば大切な保姆自身の事をして勝ちです。

第二には幼兒の環境即幼稚園の室廊下庭お座敷等が善良な性情を涵養すべく、常に充分整備されてゐる事、壁の額一つでも暗い物淋しいものでなく、明るく快活に、元氣い

つばい、又平和に靜かに、或は日本的な勇しい武者繪其色、其筆に至る迄充分心すべき事です。

第三に保育の内容として年中行事を重んじる事(四大節を始め月々の興亞奉公日に至る迄)幼稚園の年中行事の中には子供のみの行事も國家的行事が含まれてあり小國民として幼き日から敬すべき事守るべき事は理論を離れて其身に、幼き魂に織り込まれて、浸み透てしまふべきです。

第四に幼児の生活として誘導指導する時に從來の保育五項目は渾然と組み合せて取扱はれると思ひますが其の中の談話、唱歌、及觀察は最も情操教育に資する事の多い方面と思はれます。(具體的に實例を述べる時間がないので略します)

最後にあまり當然の事ながら忘れてはをらない事は七歳の子が必ず七歳にお官詣りをする様に、幼児の全生活を保育對象としてゐる幼稚園では七歳の子に七歳の日の樂しさを六歳の子に六歳の日の樂しさをそして五歳の子の朝夕を五歳の子らしく存分に樂しませる事、やがて國民學校に入學して八歳の朝に八歳の日の鍊成を、すなほに受け得る様にする事です、「如何なる心構へで如何に保育したら」を申しながら後半の實際的な事を記す時間のなくなりました事をお詫び申上げます。

談話

東京・麴町幼稚園

柴田みどり

新體制、新體制下の政治、新體制下の經濟、文化等々、盛んに論じられてゐる今日に於て新體制下の保育、談話に就て検討すべき役割を命ぜられました私、及ばづながら偉い人なみに、さて新體制とは、議論するには改めて、新體制を勉強し、新體制の何たるかを見究めねばなりませんでした。しかしさてよく考へてみますと、これも六ヶ敷くて自分とは凡そ縁の遠い様に思はれた新體制も、もう其の一步はふみ出されてゐるのであります。そうして私達自身既に新體制の中に生きてゐるのであります。まことに日本全國民がこれを意識してゐないも、欲するも欲しないも、すべてがこの中に生きてゐる事に氣が付くのであります。男も女も、主人も妻も老人も赤坊も女中も小僧も、新體制の内に生活しはじめてゐるのであります手近いことに、幼い三つ子も回覽板のお使ひに組まぢよこく出かけますし、おかみさんも常會で一言位は辨する様を見る事はあたりまへになつて來て居ります、そこで幼稚園だけ新體制を背中合せて居られませうか。ここに談話、お話し合ひでは絶えず日々に新體制の種々相が現實に表れて來てゐると思